



アナストロゾール錠「トーフ」を 服用される患者さんへ

監修

聖マリアンナ医科大学病院 乳腺・内分泌外科

教授 津川 浩一郎 先生

Contents

乳がんとは・・・・・・・・・・・・・・・・	4
治療の前に行う検査・・・・・・・・・・	5
乳がんの治療方法・・・・・・・・・・・・・	6
ホルモン療法とは・・・・・・・・・・・・・	8
ホルモン療法の目的・・・・・・・・・・・・・	9
アナストロゾール錠「トーフ」の作用の仕組み・・・・・	10
アナストロゾール錠「トーフ」の服用方法・・・・・・・・・・	11
アナストロゾール錠「トーフ」の副作用と対策・・・・・・・・	12
ホルモン療法中の定期検診と自己検診・・・・・・・・・・	16
服用・副作用状況チェック・・・・・・・・・・・・・	18

ジェネリック医薬品について

ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許期間などが過ぎた後に他の製薬会社から製造・販売され、有効成分、効き目、品質、安全性が新薬と同じであるお薬のことです。

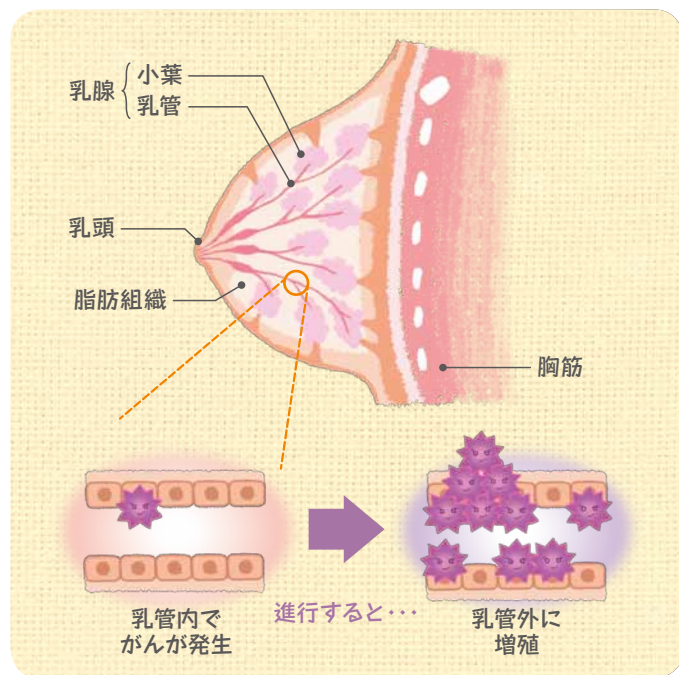
アナストロゾール錠「トーフ」はジェネリック医薬品で、効き目や安全性などが先発医薬品と同じであることが国から認められています。

乳がんは新薬の登場や検診の普及によって、その予後は大きく改善されてきています。しかしながら、その治療は決して楽なものではなく、長い道のりを越えていかなくてはなりません。それには、患者さんだけでなく、そのご家族、医師、薬剤師、看護師がひとつになって進んでいくことが大切です。みなさんとのコミュニケーションがあなたの病気を克服するカギだと思っています。お薬は飲まないとお薬が出ません。しかし、長く飲み続けることができるのだろうか、副作用が起きて飲めないこともあるんじゃないか、あるいは、うっかり飲み忘れたりするんじゃないかなど、お薬への不安もおありかと思います。まず、ジェネリック医薬品は患者さんのお薬代の負担を軽く出来ます。欧米では日本より多くの患者さんから要望されて一般的に使用されていますが、それによって効果や副作用に違いは出ていません。国内でも厳重な審査を経て認可されているので安心して使用できます。また、治療への不安や副作用のことなどは医師や薬剤師、看護師に気軽に相談してもらえれば、みなさんで一緒に考えていけるでしょう。しかし、言いにくいこともおありかと思います。そういったときのために副作用とその対策の解説、さらに、あなたの服用、副作用の状況をチェックできる、書き込み可能な冊子を作成しました。みなさんが長い道のりを歩いていく手助けになればと思います。この冊子が患者さんと私たち医療関係者をつないで、みなさんに少しでもよい明日が来ることを願っています。

乳がんとは

がんは、正常細胞が何らかの原因で変異して発生した異常な細胞(がん細胞)の集団です。

乳がんは、がん細胞が乳房の乳管または小葉で発生するがんのことをいいます。ほとんどの乳がんは乳管に発生し、「乳管がん」とよべれます。乳がんの増殖には女性ホルモンであるエストロゲンが重要な働きをしています。



治療の前に行う検査

治療を始める前に、画像検査や病理検査を行い、がんの広がり具合やがんの性質などを調べます。これらの結果から、最も適切な治療法が選択されます。

画像検査

検査の種類

- マンモグラフィ
- 超音波検査
- CT 検査
- MRI 検査

調べる主な情報

- がんの大きさ
- がんの数と位置
- がんの広がり具合
- 他の臓器への転移など

病理検査

検査の種類

- 穿刺吸引細胞診
- 針生検
- 手術で切除した組織の検査

調べる主な情報

- がんの組織の種類
- がんの悪性度
- がんの増殖能
- ホルモン受容体の有無など

※必ずしも全ての検査を行うわけではありません。また、上記以外の検査を行うこともあります。

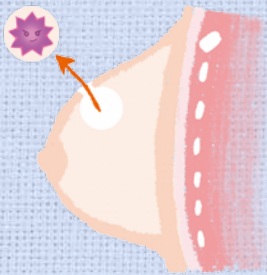
穿刺吸引細胞診: がん部位に細い針を刺して吸い出した細胞を調べる検査
針生検: がん部位に太い針を刺して取り出した組織を調べる検査

乳がんの治療方法

乳がんの治療法は、大きく分けて3つあります。乳がんの広がり具合や性質などによって、適切な治療が行われます。

手術

乳房にあるがんを、手術により切除して取り除く治療法です。主に、がんが乳房内に留まっている場合に行われます。



放射線療法

放射線には、細胞の遺伝子にダメージを与えて増殖を抑制する性質があります。放射線療法は、がん細胞に放射線を照射して増殖を抑制する治療法です。



薬物療法

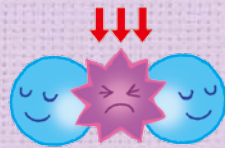
●化学療法

抗がん剤を投与してがん細胞の増殖を抑制する治療法です。抗がん剤は全身を巡るため、乳房以外に潜んでいるがん細胞も攻撃することができます。



●分子標的薬

がん細胞だけが持つ特有の性質を狙って攻撃するお薬を使う治療法です。特有の性質をもつタイプの乳がんの場合に行われます。



●ホルモン療法

エストロゲンを取り込んで増殖するタイプの乳がんの場合に行われる治療法です。詳しくは次ページをご覧ください。

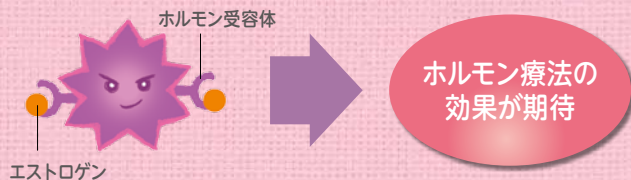


ホルモン療法とは

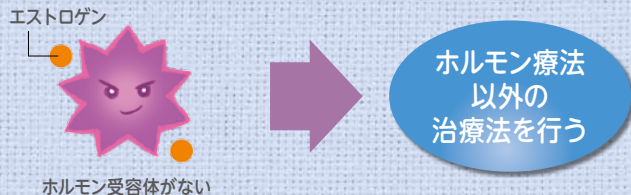
乳がんのうち70～80%は、エストロゲン(女性ホルモン)を取り込んで増殖する性質があります。このタイプの乳がんでは、がん細胞がエストロゲンを取り込めないようにする「ホルモン療法」により、がん細胞の増殖を抑制する効果が期待できます。

このタイプの乳がんなのかは、エストロゲンを取り込む入り口「ホルモン受容体」があるかないかを、病理検査で調べることでわかります。

エストロゲンを取り込んで増殖するタイプの乳がん



エストロゲンと増殖が無関係のタイプの乳がん



ホルモン療法の目的

ホルモン療法の目的は、大きく3つに分かれます。ご自身が、何を目的にホルモン療法を受けるのかは、主治医にお尋ねください。

1 手術前に乳がんを小さくする

大きい乳がんを小さくして、手術をできるようにしたり、手術の中でも乳房を残す手術(乳房温存術)をできるようにしたりする目的で行います。

2 再発を防ぐ

手術で取り切れなかった可能性のある目に見えないほどの小さながんや、乳房以外に潜んでいる可能性のあるがんを死滅させて、再発を防ぐ目的で行います。

3 進行を抑えて、症状を和らげる

がんの進行を抑えたり、がんによる症状を和らげることを目的に行います。

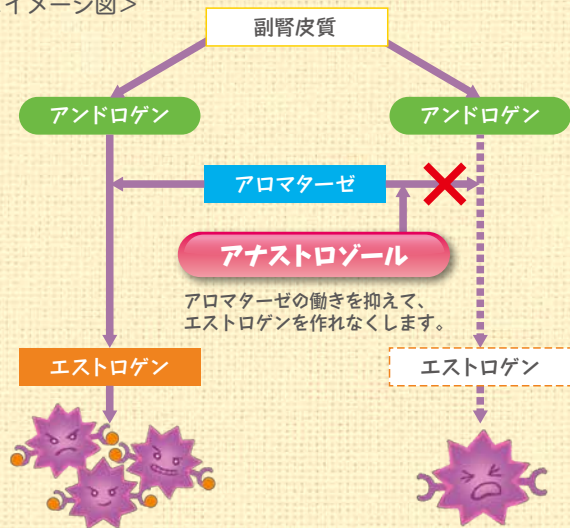
ア ナストロゾール錠「トール」の作用の仕組み

アナストロゾール錠は、ホルモン療法で使われる代表的なお薬です。

閉経後の女性では、副腎皮質で産生されるアンドロゲン（男性ホルモン）がアロマトラーゼという酵素の働きによってエストロゲン（女性ホルモン）に変換されます。

アナストロゾール錠「トール」は、このアロマトラーゼの働きを抑えてエストロゲンを作れないようにして、乳がんの増殖を抑えます。

<イメージ図>



ア ナストロゾール錠「トール」の服用方法

服用方法

主治医の指示に従い、1日1錠を毎日飲んでください。
お薬は包装(PTPシート)から取り出して、コップ1杯ぐらいの水と一緒に飲んでください。

飲み忘れた場合

飲み忘れた場合は、気がついたときにすぐに飲んでください。
ただし、次の服用時間が近い場合は、1回分をとばして次の通常の服用時間に1回分を飲むようにしてください。

絶対に2回分を一度に飲まないでください。

服用期間

手術後に飲み始めた場合は、約5年間服用を続けます。
手術前に飲む場合、手術をせずに飲む場合、他のホルモン療法を行っている場合は、服用期間が異なりますので、主治医に相談してください。
また主治医の指示なしにご自身でお薬を減らしたり、止めたりせず、主治医の指示に従ってください。

アナストロゾール錠「トローワ」の副作用と対策

アナストロゾール錠「トローワ」を服用すると、次のような副作用があらわれることがあります。

あらわれる副作用の種類や症状の程度には個人差がありますが、気になる・つらい・煩わしいと思う症状がありましたら、主治医または薬剤師に相談してください。

特に注意してほしい副作用の症状

<すぐに主治医に連絡してください>

- 発熱、食欲不振、中央に浮腫を伴った紅斑[皮膚粘膜眼症候群]
- くちびる・舌などの腫れ、呼吸困難、かゆみを伴う発疹[アナフィラキシー様症状、血管浮腫、蕁麻疹]
- 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目などの黄染[肝機能障害、黄疸]
- 発熱、から咳、呼吸困難[間質性肺炎]
- 局所の痛みや腫れ、胸痛、呼吸困難[血栓塞栓症]
- 骨折しやすくなる[骨粗鬆症]

注意してほしい副作用の症状

<気になる方は主治医にご相談ください>

- 手指のこわばり、手や膝の痛み(関節痛)
- ほてり

手指のこわばり、手や膝の痛み(関節痛)

朝に手指のこわばり(関節に硬い感じや腫れぼったい感じがあり動かしにくい)があらわれたり、手や膝などの関節に痛みがあらわれることがあります。

症状によっては、家事が満足にできなくなったり、歩くのがつらくなったりします。

痛み止めやビタミンEのお薬を服用することで、症状が和らぐことがあります。また、症状によっては整形外科の医師が診察することもあります。

症状があらわれれば、我慢せずに主治医に相談してください。



ア ナストロゾール錠「トーワ」の副作用と対策

骨折しやすくなる(骨粗鬆症)

骨の密度が低くなって脆くなってしまい、骨折しやすくなる副作用です。特に、大腿骨(太もものつけ根の骨)を骨折してしまうと、寝たきりの原因にもなります。

普段の生活では、カルシウムとビタミンDの多い食事とウォーキングなどの適度な運動を心がけてください。

診察では、定期的に骨の密度(BMD)を測定して骨の状態を確認し、骨の密度が低くなっている場合は、ビスホスホネートという骨粗鬆症のお薬を服用することがあります。



ほてり

体温を調節する機能が弱くなってしまい、更年期障害のように、急にたくさんの汗がでてきたり、顔がほてったりします。扇子を携帯したり、カーディガンなどの脱ぎ着できる服装をするとよいです。

多くの場合、徐々に症状は改善していきますが、我慢せずに主治医に相談してください。



ホ

ルモン療法中の定期検診と自己検診

ホルモン治療中は、主治医の指示通りに定期検診を受け、がんの状態や副作用の状態を確認しましょう。

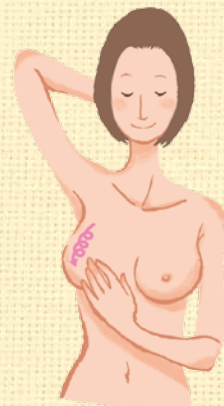
また、手術を受けた方は、月に1回程度自己検診を行い、乳房に異常がないか確認しましょう。

気になる症状などがありましたら、主治医に相談してください。

自己検診のやり方



両手を頭の後ろに組み、乳房にへこみなどの変形がないかを観察してください。



渦を書くようにして乳房を触り、しこりなどがないかを確認してください。



上記の動作を仰向けの状態でも行い、しこりなどがないかを確認してください。

服 用・副作用状況チェック

服用状況や副作用の状況を主治医が把握して適切な治療を受けられるように、下記の項目を記入して診察時に持参してください。

毎日きちんと服用を続けることは、再発を防止する大事なことの1つです。

主治医、薬剤師、看護師と状況を確認しながら、服用を続けていきましょう。



記入の仕方

前回の受診日を記入してください。
次回受診日を次の項の受診日の欄に記入してください。

手元に残っている錠剤数を記入してください。

受診日	2012 年 10 月 3 日	11 : 30
-----	-----------------	---------

残っている アナストロゾール錠「トーフ」の錠数	5 錠					
	なし	つらくない				つらい
関節痛	0	1	2	3	4	5
ほてり	0	1	2	3	4	5

<その他の気になる症状>

イライラすることが増えたような気がする。

受診までの関節痛・ほてりの症状について、当てはまる番号に○をつけてください。

その他気になる症状があり、ましたら、記入してください。

受診日	年 月 日	:
-----	-------	---

残っている アナストロゾール錠「トーフ」の錠数	錠					
	なし	つらくない				つらい
関節痛	0	1	2	3	4	5
ほてり	0	1	2	3	4	5

<その他の気になる症状>

受診日	年 月 日	:
-----	-------	---

残っている アナストロゾール錠「トーフ」の錠数	錠					
	なし	つらくない				つらい
関節痛	0	1	2	3	4	5
ほてり	0	1	2	3	4	5

<その他の気になる症状>

服 用・副作用状況チェック

受診日	年	月	日	:	
残っている アナストロゾール錠「トーフ」の錠数				錠	
	なし つらくない				つらい
関節痛	0	1	2	3	4 5
ほてり	0	1	2	3	4 5
<その他の気になる症状>					

受診日	年	月	日	:	
残っている アナストロゾール錠「トーフ」の錠数				錠	
	なし つらくない				つらい
関節痛	0	1	2	3	4 5
ほてり	0	1	2	3	4 5
<その他の気になる症状>					

受診日	年	月	日	:	
残っている アナストロゾール錠「トーフ」の錠数				錠	
	なし つらくない				つらい
関節痛	0	1	2	3	4 5
ほてり	0	1	2	3	4 5
<その他の気になる症状>					

受診日	年	月	日	:	
残っている アナストロゾール錠「トーフ」の錠数				錠	
	なし つらくない				つらい
関節痛	0	1	2	3	4 5
ほてり	0	1	2	3	4 5
<その他の気になる症状>					

服 用・副作用状況チェック

緊急の連絡先

受診日 年 月 日 :

残っている
アナストロゾール錠「トーフ」の錠数 錠

なし つらくない

つらい

関節痛 0 1 2 3 4 5

ほてり 0 1 2 3 4 5

<その他の気になる症状>

病院・医院名

電話番号

担当医師名 科

お問い合わせ窓口

memo

受診日 年 月 日 :

残っている
アナストロゾール錠「トーフ」の錠数 錠

なし つらくない

つらい

関節痛 0 1 2 3 4 5

ほてり 0 1 2 3 4 5

<その他の気になる症状>

発行：2012年

監修：聖マリアンナ医科大学病院 乳腺・内分泌外科
教授 津川 浩一郎

提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写（コピーなど）、
転載することは法律で認められた場合を除き禁じられ
ています。